

大阪医科大学学歌

作詞 林久男

作曲 近藤義政

一 暁映ゆる東の山紫に水白く
は ひんがしやまむらさき

天地こむる曙の 帳静かに明けゆけば
あめつち あげぼの とぼり
こみどり べ まなびや

濃緑つづく松の辺に たつ学舎の影雄々し
しんり

二 真理の力智の光 仁の泉か朝に夜に
たど

慕ひて辿る先賢の 杏林繁く道遠み

高き使命を想ひては たぎるか若き胸の血よ
じやくまく さ

三 それ寂寞の夜は更けて 北斗の星の冴ゆる時
ことう もと と ふみ

孤燈の下に繙く書も 三島の原に踏みしだく
をぐさ ぞうか さとし

小草の露の光にも 造化の秘義の啓示あり
きたあまやま

四 北安満山に春暮れて 南にうねる大淀の
彼方に霞む生駒山 浪速の浦はかぎろひて
夕日の西に沈む時 瞬きそむる指南星
なんめい

五 ああ南溟の空遠く かのアマゾンの岸の花
こんろん われら

はた崑崙かゴビの原 吾等の春は遠くとも
あと

消えゆく若き日を惜しみ「時」の歩みの跡とめん